

1 災害時に自動的にガスを遮断する「マイコンメーター」

LPガス機器は、マイコンメーター搭載で災害時も安全です。

安全機器 **マイコンメーター**

マイコンメーターはガスをご使用時に大きな揺れ(震度5相当以上)を感知すると、自動的にガスを遮断します。

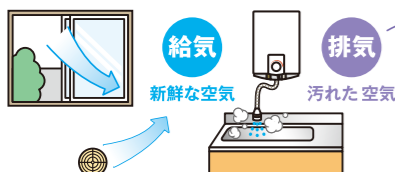
止まったガスを使えるようにするには
復帰ボタンを押し1分間待ちます

※操作しても復帰しない場合は、
LPガス販売店の点検を受けてください。



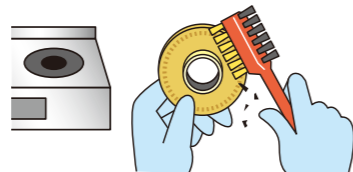
2 LPガスを「安全にお使いいただくために」

■ 換気に注意



ガス器具を使う時は換気扇を回し、時々窓を開けるなど、必ず換気(給気と排気)を行い、新鮮な空気に入れ換えましょう。

■ 日頃からお掃除を



ガス器具や換気扇に油汚れやホコリがたまるとCO(一酸化炭素)発生の原因に。

■ 備えて安心



気づきにくいCOの発生を音でいち早く知らせる「CO警報器」の設置をおすすめします。

3 神奈川県 LPガスの取り組み

横浜市・川崎市・秦野市 地域防災拠点の学校に「LPガス常設」実現

災害時に避難所となる学校などの公共施設に、災害対応バルクやLPガス発電機などを導入設置する事例が各地で本格化しています。

神奈川県LPガス協会は2014年3月、地域防災拠点に指定される横浜市内の地域防災拠点となる中学校のうち都市ガスが供給されている82中学校と1高等学校にLPガス容器を常備し、災害時に備える体制が整備されました。

川崎市では、小中学校116校にLPガス容器が常備され、秦野市では、市内全22小中学校にLPガス仕様のGHPが導入されています。また、小田原市では、18小中学校の普通教室に、伊勢原市では4中学校の普通教室にLPガス仕様のGHPエアコンと災害バルクを設置しました。



秦野市設置事例



横浜市設置事例

文部科学省が取りまとめた「災害に強い学校施設の在り方について」の報告書の中で
普段使用している熱源が使えなくなることを想定し、炊き出しなどに必要な熱源をLPガスやカセットコンロなどにより確保しておくことが重要。と公表しました。

お客様相談所 公益社団法人 神奈川県LPガス協会

どんなことでもLPガスのご相談はこちらへ

<http://www.kanagawalpg.or.jp/>

☎ 0120-244-566 受付時間(年末年始、日・祝日は除く)
【平日】am 8:30 ~ pm 5:00 【土】am 10:00 ~ pm 4:00

このリーフレットはLPガス安全委員会支援事業により作成したものです。

LPガス安全委員会 <http://www.lpg.or.jp>



もしもに備えてる?

LPガスは災害に強い

ラインのいないライフライン

災害時に困るのは「**ライフライン(電気・ガス・水道)の遮断**」

電気・ガス・水道のライフラインの遮断が災害の課題となっています。

大規模な災害では物資の供給が遅れたり、ライフラインが止まったりする恐れもあります。特に、ライフラインの復旧には時間がかかる場合があり、日頃からライフライン(電気・ガス・水道)が遮断した時の備えが大切です。

LPガス(プロパンガス)はボンベに入っているので

効率よく運びやすい

点検が容易なのですぐ使える

保管がしやすい

「**ラインのいないライフライン**」です!

中面をご覧ください

地震災害等により家屋が倒壊した場合、被災者は避難所や仮設住宅での生活を強いられることになります。そんな時でもLPガスは、給湯、煮炊きに加え、暖房、発電など行うためのエネルギー源として、当該施設に迅速に設置し、被災者の生活を支援することができます。

災害時、何より大事な事! まず自分の身を守りましょう



1 身の安全を確保し揺れが収まるのを待ちましょう。



2 ガスコンロなどの器具栓を閉めましょう。



3 ガス元栓、容器バルブを閉めましょう。

災害に強い!

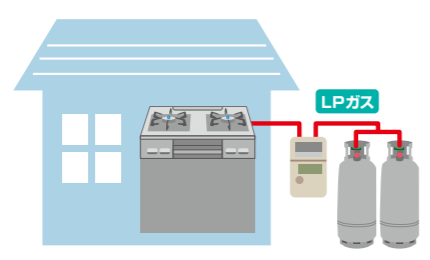
💡 LPガスは災害発生後の復旧が早い!

災害時には「安全」に「すぐ使える」ようになる事はとても重要です。

1 ガスにも種類があるよ。「LPガス」と「都市ガス」の違い。

LPガス

特徴
個別供給



- 1戸1戸販売店が個別点検、配管が短く点検が容易
- 1戸単位で安全を確認し復帰可能なため、**復旧までの時間が短い** ※バルク貯槽を設置する場合もあります。

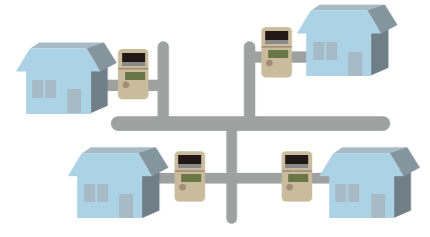
LPガスってどんなガス?

- 一般家庭で使われる50kg容器には、1~2ヵ月分(4人家族の場合)のLPガスが入っています。
- LPガスとは「Liquefied Petroleum Gas」の略で、日本語で液化石油ガス通常プロパンガスと言われています。容器(ボンベ)には、液体の状態での貯蔵され、使う時に気体(ガス)になります。液体の状態だと、気体の1/250の体積になるため効率的に貯蔵・配送することができます。

💡 1戸単位で点検・復旧が可能なので、**復旧が早い!**

都市ガス

特徴
分散型供給



- 都市ガスは各戸の器具点検ガス栓閉止確認が必要なので**時間がかかる**
- 埋設配管等の安全確認に時間を要する。数百戸、数千戸単位で安全確認が必要のため、復旧に時間を要する。都市ガスはその供給の性質上、災害などで地下の導管が損傷すると被害は広範囲に及び、また復旧までに長い日数を要します。

2 東日本大震災被災地の方々の声 (日本LPガス協会WEBアンケート調査結果より ※全国2万人の自由回答から抜粋)

宮城県・40代・女性

我が家はLPガスです。なので、3月の震災の時は大変助かりました。前に仙台に住んでいる時は都市ガスだったので料金が安かったのが引越してきた頃は、都市ガスが良かったと思いましたが今回の震災でその日から使えたLPガスに感謝しています。温かいものが食べれる、飲める幸せを実感できました。オール電化と騒がれていましたが今回の震災で電気がつくまでに10日。LPガスはその日から使えました。電気よりもLPガスがもっと見直されても良いと思いました。

茨城県・30代・女性

以前は、LPガスというとガス代が高いというイメージがあり敬遠していました。しかし、震災を経験し、考えが変わりました。災害時に強いというのはもちろんですが、環境に優しく、危険が少ないということがわかりました。さらにホームページを拝見し、日々リスクと隣り合わせで作られたエネルギーを使うよりも、安心して使うことができるLPガスの方が環境にも未来にもやさしい生活が送れる事がわかりました。子供たちの未来のために、母として、考えさせられるよいきっかけになりました。

3 東日本大震災の時はどうだった? LPガスと他のエネルギー。



LPガスは、地震などの災害によってガスが使えなくなった状態からの復旧の早さに定評があります。平成30年6月18日に大阪府内で発生した震度6弱の地震ではLPガスは翌日19日に、都市ガスは24日に全面復旧しました。

災害対策!

💡 エネルギーを使いながら災害に備える!

1 エネルギーにも「ローリングストック」という考え方を!

ローリングストックのポイントは「**日常生活で消費しながら備蓄する**」ことです。



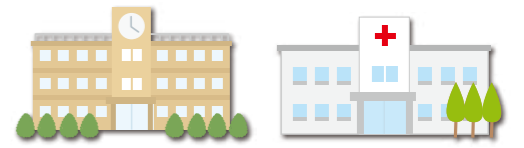
LPガスはガスを使いながら備蓄できるエネルギーです

LPガスは容器に概ね1~2ヵ月分程度のLPガスが残るようお届けしています。災害などによりLPガスの配送がストップしても、ガス設備が破損していなければ普段通りガスが使えます。このように備蓄されているガスを「軒下在庫」と呼んでいます。

2 避難所などに指定されている公共施設等にLPガスは最適です。

点検・復旧の早いLPガスは避難所や病院などのエネルギーとして最適です。

地震災害時に電気・都市ガス等のライフラインがストップしても、LPガスを常時使用していればガス炊飯器(100V電源を使用しないもの)、コンロ(100V電源を使用しないもの)での食事準備、ガス発電機による給電が可能です。



地震対策助成金

避難場所等に指定されている神奈川県内の公共施設等で新たにLPガス設備を設置する場合に費用の一部を助成します。詳しくは(公社)神奈川県LPガス協会ホームページまで <http://www.kanagawalpg.or.jp/>